

世田谷クリーン通信

2019年1月11日
～第1号～

明けましておめでとうございます。

世田谷区清掃・リサイクル部です。本日より『世田谷クリーン通信』を発信します。

区内排出事業者を中心に、資源循環を含む区の清掃(clean)事業について一緒に考えてくださる方々との情報交換の場になれば幸いです。今後、1年間を目処に不定期に(月2回目標!)お送りします。

第1号は、先日の『『エコな企業へ』実践を目指す3 Days セミナー』に参加してくださった方々を中心にお送りしています。関心のある方にこの通信をご紹介いただくことは大歓迎ですが、送信を希望される方には、区から直接お送りしたいので、まずは区へご一報いただくようお願いください。

ご愛読いただき、ご意見や投稿などいただければ幸いです。

セミナーの記事が「月刊廃棄物
12月号」に掲載されました!

特集「3Daysセミナー」

区のおしらせ10月15日号とホームページで公募しました。

その他、排出量の多い事業者を中心に一部ご案内をお送りしました。今後も続編を検討しています。

第1回目(10/23) 講義「廃棄物に関する基礎知識」

講師 長岡文明氏



第2回目(10/30) 講義「世界的な環境問題と循環型社会形成の
企業戦略(SDGs等について)」

講師 関 荘一郎氏



第3回目(11/6) シンポジウム「持続可能な社会にむけての企業理念と実践」

コーディネーター 百瀬則子氏

シンポジスト 関根久仁子氏、松本貞行氏



【参加者】業種別延べ事業者数

工業(5)、情報・通信(2)、卸売(2)、
小売(5)、保険(1)、ビル管理(7)、
飲食(2)、大学(5)、病院・医療(4)、
廃棄物(7)、公共・ほか団体(5)

【アンケートより】

印象に残った内容

第1回目

- 委託している業者の許可証を改めて確認してみようと思った。
- 排出者の責任が重いこと、無許可業者に委託する者も無許可営業をしている業者と同等の重い罰則があることを改めて認識した。
- リサイクルのインプットとアウトプットの関係や法的な位置づけが確認できた。



第2回目

- ごみの分別がマクロ経済に好影響を与えるということがわかった。
- ESG投資※1、SDGs※2、グリーンボンド※3が印象に残った。
- 海洋ごみと廃棄プラスチックの現状が理解できた。

※1 ESG投資：環境(Environemnt)、社会(Society)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資

※2 SDGs：持続可能な開発目標。2015年9月国連サミットで採択された17の目標

※3 グリーンボンド：環境改善効果のある事業に充当する資金を調達するために発行する債券



第3回目

- ユニー(株)※4の徹底した廃棄物対策が参考になった。
社員研修用のDVDの視聴も役に立った。

※4 ユニー(株)：中京地域を中心に総合スーパーを運営する流通企業。コーディネーター百瀬氏が所属している。

- 資源の地域循環が重要だと思った。
- リサイクルの完結、最終的な終着点までの確認が重要であると思った。

もったいない、何とか活用できないかと思うもの

- 内装変更などで出る粗大状の家具類
- 使い捨てのプラスチック容器
- 工業部門で製造過程から出る食品残渣（バナラビーンズやコーヒー豆等）
- 文具
- 年明けの「のしもち」（和菓子店から賞味期限内のものが大量に廃棄される。なんとかできないか。）



Wanted! Ideas!

“のしもち”の有効活用のためのアイデア、意見を募集します。
例えば、揚げ餅にしてイベントで売る、配るなど、思いつきで構いません!

自由意見

- 同業者間で意見交換をしたい。
- 分別を強化したいと思った。
- ESG投資、SDGsを意識した経営を考えなければと思った。
- 自社の廃棄物の発生状況を把握しようと思った。
- 廃プラスチックの分別区分が家庭と違うことが社員に正しく理解されていない。
- 紙の製造者はリサイクルできない紙の製造を控えてもらいたい。
- 工業・物作り系の事業所ももっとこのようなセミナーに参加すべきだ。

次号は、セミナーでご紹介したユニー(株)の社員研修用ビデオ（セミナー後にも参加者から照会がありました。）の内容を改めてご紹介します。社内研修等にお役に立つかもしれません！



～編集後記～

このような通信を手探り状態で初めてお送りしました。今後、いろいろな方からのご意見や情報提供もいただいて、緩やかに続けていけたらと願っています。そのため、読者の皆様からのコメントやアイデアなどはいつでも歓迎いたします。何卒よろしくお願ひします。